



学校便り「尚徳」 7月号

第469号

鳥取大学附属小学校

平成23年7月20日

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明教授（地域学部）



熱い心のこもった研究発表大会

副教頭 鈴木 英之

7月8日に本校の研究発表大会がありました。前日は大雨でしたが、当日は梅雨明けが宣言されるほどの好天に恵まれ、朝から強い日差しが照りつけ、南風が吹き、とても暑くなりました。南風に乗って熱心な参加者が200名以上も来られました。そして、先生方と子どもたちが創りあげた公開授業もとてもあついものでした。

8時30分の受付と同時にたくさんの参観者が受付に並びました。懇話会役員さんと附中の教頭先生に受付をお願いしました。県内小学校や大学生など長い列ができた受付もありましたが、手際よく声をかけられて、受付確認をされていました。

事務係長の放送で（子どもたちが「誰の声だろう？校長先生かな。」と言っていました。）公開授業Ⅰ、公開授業Ⅱと予定通り進行していきました。どの教室もたくさんの参観者があふれ、工夫された教材を介しての、教師と子どものやりとりを食い入るように見守っていました。真剣さの中に温かさのある子ども同士のやりとりや教師と子どものやりとりがどの授業にも見られました。

理科分科会は、大学生も含めると参加者が20名で、私が理科主任をしていたころの2倍以上の人数

で嬉しかったです。参観された先生方は、児童の主体性を生かし、既習事項を活用して、すぐに結論を出そうとしないで児童に追究させていく素晴らしい授業と評価されていました。附属OBの先生方や大学の共同研究者の先生方の具体的なアドバイスもありがたかったです。

午後からの全体会では木原研究主任が研究の概要を堂々と説明しました。野口先生の講演会はやはり熱いもので、教師としてのプロ意識や今と先を見通す確かな目を学びました。

附中の先生方には、授業や分科会で協力していただきましたし、附属幼稚園や附属特別支援校からたくさんの先生方に参加していただきました。

最後になりましたが、懇話会の役員の皆様には炎天下の駐車場係、大忙しの受付、接待、お弁当、チャーターバス添乗と本当にお世話になりました。また、いつもより早く帰宅した子どもたちを家で待っておられた家族の方々、ありがとうございました。

大成功に終わった今年度の研究発表大会は、子どもたちと、先生方と保護者の方々、そして、鳥取大学と附属四校園や本校出身の先生方の熱い心のこもった、どの参観者も満足される研究発表大会でした。心より感謝申し上げます。



【森の学校～4年生】



6月9・10日に「森の学校」を行いました。

初日の氷ノ山登山は、よいお天気にめぐまれ、頂上までみんな励まし合いながら登りました。頂上で食べたおにぎり弁当は格別の味だったようです。

夜は、森の集会を開き、キャンプサービスで静かに友情を確かめ合ったり、モリアオガエ

ルのお話を聞いて、その鳴き声に耳をすませたりして過ごしました。

2日目は、お楽しみのカレー作りをしました。飯ごうで炊いたご飯は、グループによってふっくらご飯や生にえご飯など様々でしたが、どうにか完成し、楽しく共同作業を体験できました。めあてにしていた「進んで行動する、力を合わせる、決まりを守る」という3つの大切さを実感し、貴重な体験となった「森の学校」でした。



【避難訓練】



6月15日、火災を想定した避難訓練を行いました。湖山消防署の消防士さんに避難の仕方について講評していただいた後、消防車からの放水の様子を見学しました。また、今回は防火扉が開いた状態での避難の仕方を経験しました。ハンカチで口を押さえながら「お・は・し・も」を合い言葉に真剣に避難することができました。

